

第1回富士見市生涯学習推進市民懇談会会議録

日 時 平成28年8月5日(金) 10:00~12:00

場 所 富士見市役所 市長公室

出席者 ○市民懇談会参加者

岩本	是永	大木	佐藤	藤川	狐塚
○	○	○	○	○	○
氣賀澤	池田	高橋	田村	大下	矢島
○	○	○	○	○	○

○事務局

【教育委員会】木村教育委員長事務代理

【生涯学習課】鳥海課長、和田副課長、加治主査

【地域文化振興課】中嶋課長、田中主事補

1. 開 会

2. あいさつ 木村教育委員長事務代理

3. 自己紹介

参加者、事務局の自己紹介を行った。

4. 座長選出

岩本氏を座長として選出した。

5. 議 事

(1) 資料確認

事務局より、配布資料の確認を行った。

(2) 協議事項

・生涯学習推進市民懇談会の役割

事務局より、説明を行った。

委員) 懇談会で話した内容に関しては他所で話しても問題ないか。

事務局) 問題ない。議事録は市ホームページに掲載する。

委員) 要綱の内容が読みにくい。

事務局) 書き方に関しては検討したい。

委員) 各資料に日付が入っていない。

事務局) 次第に記入している。次第と各資料で一つの資料とご認識頂きたい。

・「生涯学習推進基本計画 取り組みの方向性」について

事務局より、説明を行った。

委員) 全体的に表記が抽象的ではないか。

事務局) 幅広い市民からの意見や、過去五年の実施内容をまとめたものとなるので、抽象的な表記となったことをご理解いただきたい。

委員) 実施事業の評価はどのように行うのか。また、本懇談会の意義に関して伺いたい。

事務局) 昨年度、過去5年の振り返りを行い、社会情勢の変化に伴う計画の見直しを行った。平成32年には本計画が終了することから、第三次計画に向け、全体を統括した評価と見直しが必要となる。その際には審議会方式として会議を開催する。本懇談会はそれぞれの市民活動をしている皆さんが活動時に困っていること、うまくいっていることを積極的に発言してもらい、その意見を庁内各部署になげかけていくことが目的である。ぜひ率直な意見をいただきたい。

委員) 子ども、高齢者、若者など世代間の交流が不足しているように思う。

委員) 知らない人から声をかけられた際の反応は地域によって差がある。

委員) ふれあいサロンで小学生と交流する機会があり、子どもと顔見知りになることができた。高齢者はこういった機会を待っている。

委員) 各小学校で知らない人に声をかけられた際の対応の指導が地域によって違う。「進んで挨拶しましょう」と教える場所もあれば、「知らない人に声をかけてはいけない」と指導する地域もある。

委員) 比較的地域のつながりがあり、人の流れが少ない地域と駅前で人の流れが激しい地域とで子どもの指導に対する差異が発生することは子どもの安全性の確保のために仕方ないのではないか。

委員) 子供に顔を覚えてもらうこと、この人は話しても安全だと子どもに認識させることが大事ではないのか。あいさつ運動も含め、大人が積極的に働きかけることが大切である。

委員) 子どもを大切にする地域活動が大切。そのための働きかけを町内会などに行いたい。

・まちづくり講座（出前講座）について

事務局より、説明と昨年度実績報告を行った。

委員）講座数が多すぎる。無駄ではないのか。

事務局）市民の自主的な学習に関する選択肢を増やすという意味でメニューを作成している。

委員）講座内容に関して重点を置いてほしい箇所などの要望はできるのか。

事務局）可能である。現在用意している講座で対応しきれない場合はリクエスト講座で対応することも可能である。

委員）講座は有料か。

事務局）無料であるが、会場は各団体で確保いただく必要がある。

委員）講座メニューは公開されているのか。

事務局）ホームページで公開している。また、紙媒体でのメニューは各交流センター、公民館、市役所地域文化振興課窓口で配布している。

委員）講座開講までの流れの中で「5人以上の団体」となっているが、「団体」という表記は固すぎるのではないか。

委員）「5人以上のグループ」とするなど、柔らかい表記を検討する。

・人材バンクについて

事務局より、説明と昨年度実績報告を行った。

委員）講師は毎週派遣していただけるのか。

事務局）講師と派遣先との話し合い、同意があれば問題ない。

人材バンクを離れて個人対施設で交渉してもらっても構わない。

（3）その他

委員）通知はメールで送付していただきたい。

事務局）現在、メールでの通知は行っていないが、今後の検討事項としたい。

委員）郷土資料館をつくりたい。

事務局）施設を新しく作ることは現実的に難しいが、既存の施設の空きスペースを使用する等、やり方はあると考えている。次回以降の懇談会で協議を進めたい。

6 閉 会

以上